

北海道風力実証試験にかかるマージン設定に関する 具体的な運用の検討について

2017年6月23日

- 北海道風力実証試験にかかるマージン設定については、第14回及び第16回の調整力及び需給バランス評価等に関する委員会において、スポット市場の前の段階で設定（但し、2017年度分については翌々日空容量算出時点の空容量の範囲内で設定）する等の方向性が確認された。
- また、以下に示す具体的な運用方法等については、マージン検討会で検討することが確認された。
 - 実務上、システム上の制約等を考慮した、翌々日空容量算出時でマージン設定できなかった場合のその後のマージン追加確保方法（2017年度のマージンが対象）
 - 出力予測値が0付近または上限出力付近の場合のマージン設定量減少についての具体的な運用方法・マージン減少量・タイミング
 - 定期点検により実証試験の風力発電が停止している場合のマージン設定量減少についての具体的な運用方法・マージン減少量・タイミング



- 次のような体制及びスケジュールで検討を進めていくこととする。

- 関係するマージン検討会・作業会メンバー（北海道・東北・東京）及び広域機関事務局メンバーで構成するWGを設置のうえ検討し、マージン検討会に検討結果を報告する。

<北海道風力実証試験用マージンの具体的運用等に関する検討WG>

メンバー	<一般送配電事業者>北海道電力、東北電力、東京電力PG：マージン検討会・作業会メンバー <広域機関>マージン検討会・作業会事務局メンバー（広域調整G）
開催頻度	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1～2回程度
主な検討事項※1	<ul style="list-style-type: none"> 翌々日空容量算出時でマージン設定できなかった場合のその後のマージン追加確保方法 出力予測値が0付近または上限出力付近の場合のマージン設定量減少の具体的な運用方法・マージン減少量・タイミング 定期点検による実証試験風力発電停止時のマージン設定量減少の具体的な運用方法・マージン減少量・タイミング 下げ代不足の場合の順方向マージン設定量の減少による系統全体の出力制御量抑制の具体的な運用方法

※1 今後の調整力及び需給バランス評価等に関する委員会において、「マージン検討会で検討」と整理した事項については逐次、検討事項として追加していく。

<検討体制>

マージン検討会

※2 今後、検討事項を追加する場合、その内容に応じ、検討会へ報告する時期を設定

検討結果を報告（H29年8月末日途）※2

北海道風力実証試験用マージンの
具体的運用等に関する検討WG

北海道電力
東北電力
東京電力PG

実務者
(中給等)

適宜、意見を
聴取

北海道電力
東北電力
東京電力PG

マージン
検討会・作業会
メンバー

広域機関

マージン
検討会・作業会
事務局メンバー

適宜、意見を
聴取

広域機関

実務者
(広域運用
センター)

		2017年度						主担当箇所
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
検討WG	翌々日空容量算出時でマージン設定できなかった場合のその後のマージン追加確保方法							広域機関
	出力予測値が0付近または上限出力付近の場合のマージン設定量減少の具体的な運用方法・マージン減少量・タイミング							北海道電力
	定期点検による実証試験風力発電停止時のマージン設定量減少の具体的な運用方法・マージン減少量・タイミング							北海道電力
	下げ代不足の場合の順方向マージン設定量の減少による系統全体の出力制御量抑制の具体的な運用方法							北海道電力
マージン検討会								○ 検討結果

→ 実証試験開始 (予定)